

第8号

えがお

発行 青少年育成美浦村民会議
事務局 美浦村教育委員会 生涯学習課
美浦村中央公民館内
美浦村大字受領 1460-1
Tel 029-885-4451
平成 29年 3月 1日

伸びよう伸ばそう青少年

～心豊かな青少年を育てるために～



青少年育成美浦村民会議

会長 葉梨 輝夫

近年、家族形態の多様化や地域社会とのつながりの希薄化などを背景に家庭を取り巻く環境が大きく変化し、家庭の教育力や地域における家庭を支える力の低下が指摘されております。

教育・子育ては家庭や学校だけの問題ではありません。次世代を担う青少年が自他の命を大切に思い、安全で健やかに成長できる環境づくりは、私たち大人の責務であります。

「地域の子どもは地域で守り育てる」気持ちや地域で共有して、互いに青少年に関心を持ち、地域社会全体で子ども達を見守っていくことが最も大切なことではないかと思えます。

次世代を担う青少年の健全育成は、いつの時代でも最重要課題の一つであります。私たちの活動が少しでも子ども達の未来へつながることを信じて、これからも粘り強く活動していきます。村民の皆様におかれましてそれぞれ立場から、青少年が心豊かに育つようご支援ご協力をお願い申し上げます。

美浦中学校授業訪問と下校時の声かけ運動

学校での教育活動の様子をつかむことを目的に、美浦中学校、木原小学校、安中小学校、大谷小学校、美浦幼稚園の授業の様子を参観しています。

今年度は7月に美浦中学校を訪問して授業参観及び学校との意見交換会を実施しました。また、生徒下校時のあいさつ声かけ運動を美浦中学校教職員と連携して4日間実施しました。美浦中学校生徒のあいさつは、とてもはつらつとしていて大変感心しました。



授業参観



下校時の声かけ

青少年健全育成のための環境整備事業

7月2日に通学路清掃を中心とした青少年を取りまく社会環境の点検活動を実施しました。

当日は猛暑の中、村内小学校児童（ジュニア・アカデミー）や美浦中学校生徒（コース・リーダー）も参加しての通学路の清掃を実施しました。また村青少年相談員はコンビニエンスストアなど、青少年と関わりの深い店舗へ訪問し、青少年の良好な環境整備について協力を依頼しました。



通学路清掃



青少年相談員による店舗訪問

青少年非行防止巡回活動

7月19日に木原祇園祭、8月5日に美浦トレセン夏祭りにおいて、犯罪や非行のない明るい社会の実現のため、会場周辺の青少年に声を掛ける「巡回指導」を行いました。

「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」においては、23時～翌日午前4時までの青少年（18歳未満）の外出は禁じられています。この時間帯に外出している青少年を見かけた場合は帰宅を促すようお願いします。



福島復興支援ボランティア事業

8月7日、美浦中学校3学年の生徒27名が、福島県安達郡大玉村（災害時相互応援協定締結村）の大玉村宮横堀平団地におもむいて、清掃活動を行いました。当日は気温30度を超える猛暑日でしたが、みんな頑張って作業していました。また、支援物資として「みほ絵てがみ同好会『彩』」の会員が心を込めて制作した絵手紙を生徒代表の堀越くんより贈呈。仮設住宅の自治会長に、生徒達から直接手渡されました。活動後は、福島県産の農畜産物を使用した料理を試食。原発事故に係る風評被害に苦しむ中で、生産者と自治体が行っている安全確保に向けた取り組みなどの説明を受け、その安全性を再確認し、とても美味しい昼食をいただきました。さらに、大玉村の夏の一大イベントである「おおたま夏祭り」にも参加し、地元商工会等のお店で買い物をするなど、地元の方と交流を深めることが出来ました。参加した生徒は大震災の現状を身近に感じ、貴重な経験となりました。



参加生徒の感想文を紹介します

このボランティアに参加できたことがとても良い経験になったと思います。福島県は震災直後の大津波やそれに伴う原発事故により大規模な損害が出てしまった中、5年と数カ月が経過し、徐々に落ち着きを取り戻していると感じました。福島県産の食材に関しても、今回福島県産の食材を使用したカレーやサラダを食べて、改めて「福島の食材は美味しい」と実感することが出来ました。私たち消費者が安心して食べることが出来るように、食材を一つ一つを検査していただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。今年で「福島復興支援ボランティア」が終了するとお聞きし、残念に思いますが福島県の皆さんには健康に注意して元気にお過ごしください。これからも、私たちに協力できることがあれば引き続き応援したいと思います。

美浦中学校 3年 岩瀬 由華

全国高等学校家庭クラブ研究発表福島大会

8月5日に「全国高等学校家庭クラブ研究発表福島大会」が郡山市民文化センターで開催され、美浦村議会、美浦村女性行政推進協議会及び美浦中学校生徒4名と共に参加しました。本大会は東日本大震災、原発事故という苦難に立ち向かう福島県内の高校生が主体的に企画・運営された大会であり、中学生にとっては、大変有意義な学習の場となりました。



家庭教育応援ナビ 「すくすく育て いばらきっ子」

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/>

茨城県教育委員会では、社会全体で子どもの自主性・自立性の育成を図り、強くたくましく生きられる子どもを育てるため、家庭教育の充実に取り組んでいます。今年度、家庭教育に関する学習機会と情報を提供するサイトを開設しました。ぜひ、ご覧ください。

①家庭教育コラム

子どもの発達段階に応じて、テーマを設定し、家庭教育について学ぶ機会を提供します。

②イベント・講座情報

地区ごとにカレンダー形式で、家庭教育支援活動サークルや団体、子育てセンター、各生涯学習センター、青少年施設等において実施される事業を紹介します。

③いばらきっ子わが家のおやくそく8か条

優秀作品を掲載しています。わが家の取り組みを紹介しますので、ご応募ください。

④子育て相談Q & A

子どもの発達段階に応じた子育ての悩みとアドバイスを掲載しています。

⑤家庭教育支援活動サークル・団体情報

家庭教育を支援しているサークルや子育て支援に取り組むNPO等団体を紹介します。

⑥おすすめの本紹介

子どもの年齢別に、おすすめの本を紹介します。

⑦自然体験活動プログラム

子どもいきいき自然体験フィールド 100 選施設を紹介します。自然体験活動の感想も募集します。

⑧子育てに関する相談窓口

各相談窓口を掲載しています。

⑨家庭教育支援資料

子どもの発達段階に応じた家庭教育支援資料「すくすく育てはじめの一步」「ひよこ」「家庭教育ブック」「つばさ」等を掲載しています。

⑩企業連携による教育力向上推進の取組

企業の学校支援や企業における家庭教育学級等を紹介します。

⑪ツイッター

ツイッターによる情報発信をします。



茨城県 家庭教育応援ナビ で検索!

パソコンだけでなく、
スマートフォンや
タブレット端末でも
見ることができます。



QRコード

【問合せ先】茨城県教育庁総務企画部
生涯学習課

〒310-8588 水戸市笠原町 978-6
TEL:029-301-5322 FAX:029-301-5339
E-mail:katei-kyouiku@edu.pref.ibaraki.jp